

## 平成 30 年度 当事者団体・家族会連絡会 第 2 回実行委員会 会議録

日時：平成 30 年 10 月 10 日（水）13:00～15:00

場所：かがわ総合リハビリテーションセンター 2 階 第 2 研修室

参加者：ライブサポートセンター、むつみ会、高松市身体障害者協会、香川自閉症協会、支援センタークリマ、支援センターあい、支援センターこだま、基幹中核

### 議題①

#### 第 1 回連絡会の反省点

- ・連絡会の広報の方法について

各団体には届いていたが、そこから広がらなかった。チラシを作って各団体に配布を依頼する。自支協の他の部会や相談支援事業所への周知がなかった。フェイスブック等の SNS を活用してみても・・・。

→チラシを作成し、各団体に配布する。

- ・参加者へのアンケートが出来なかった。

→第 2 回の連絡会では実施する。

- ・グループワークで出た意見について

基幹センターへの期待を感じる意見が多かった。ダイバーシティについて学んだが多様性を認める社会などの啓発の仕方を考えていく必要がある。

#### ※その他の意見

- ・ヘルプマークの認知度の低さ。

→第 2 回の連絡会時にチラシを配布する。あいサポート運動についてもチラシを配布する。

- ・当事者の困りごとを発信する場がない。

・自支協の HP に研修会や行事をアップして欲しい。岡山の総社市はフェイスブックで行事をアップしている。

→運営部会で確認してみる。

### 議題②

#### 第 2 回連絡会について

- ・開催時期は来年 1 月を予定。

・内容については、特殊詐欺について啓発・勉強会をする予定。消費者センターから講師を招き、講義と事例紹介とグループワークをする予定。相談員から事例を出してもらい、講師の方に解説してもらう予定。

### 議題③

#### その他の気になること

- ・県自立支援協議会と市自立支援協議会との関係について

- ・発達障害について
- ・障害を持っている高校生や親が困っている現状。
- ・家族会等の参加者の減少について。世代間のギャップ、主張はするが参加しない風潮などの課題が見えて来ている。多少、減っても継続することが大事との意見も・・・
- ・この部会としては、過去の歴史を語り継ぐ役目もあるのではないか・

などの意見が出た。